

## 第28回東北森林管理局国有林野管理審議会

ご意見・ご質問	回答
<p>(第1号議案について)</p> <p>昨年の大雨により、山形県内国有林野でも地滑など甚被害が出たと話を伺いました。近年は、線状降水帯の発生など想定をるかに超える異常気象が続いております。特別高圧送電線網の建設工事自体が、そうした水害を拡大したり、誘発する要因にならないよう、貸与相手方には細心の注意を払い申し伝えるべきでしょう。</p>	<p>ご指摘のとおり、近年は想定を超える異常気象が続いておりますことから、当該事業における建設工事が土砂災害を誘発することが無いよう、事業者側には、工事の実施にあたり細心の注意を図るように伝えて参りたいと考えております。</p>
<p>(第1号議案について)</p> <p>資料によれば計画ルート of 鉄塔建設予定地およびその周辺では地すべり地が非常に多い。また当地域内の過去10年間の自然災害も多く発生し、そのうち特に豪雨による土砂崩れが多い地域である。鉄塔と関連施設の工事では山林を削る工事も多く、予期せぬ豪雨によって大きな被害をもたらさないよう、細心の注意が必要である。</p>	<p>同上</p>
<p>(第2号議案について)</p> <p>風車設置予定場所は尾根沿いを基本として急傾斜地も多い。またそれらをつなげる道路の新設や既存道路の拡幅などでは、表土を削り地盤があらわになる。一度土壌がはぎ取られた傾斜地は工事後の緑化では現状を回復しないことがあるため、豪雨時などの地盤災害には特段の注意が必要である。</p>	<p>本事業においては、尾根沿いの土地改編や新設道路の建設や既設道路の拡幅などが計画されていることから、事業者側には、工事の実施にあたって地盤災害の未然防止策を講ずるよう伝えて参りたいと考えております。</p>